

説明・記載例 (訴状(少額訴訟・売買))

- ①提出先の裁判所名を記載してください。
- ②訴訟物の価額(訴額)及び手数料額は被告に請求する内容によって決まります。

原告や被告が法人の場合には、法人の本店所在地、法人名、代表者の資格、氏名を記載してください。

【例】

〇〇市〇〇町〇〇番地
原告 〇〇株式会社
同代表者代表取締役 〇〇〇〇
〇〇市〇〇町〇〇番地
被告 〇〇株式会社
同代表者代表取締役 〇〇〇〇

訴状とともに提出する書類の名称を記載してください。
ここに例示されているような証拠書類があれば該当する「□」をレ点でチェックし、その他の証拠書類があれば空欄の「□」をレ点でチェックして書類の名称を記載してください。

訴 状	
少額訴訟による審理及び裁判を求めます。本年、この裁判所において少額訴訟による審理及び裁判を求めるのは ● 回目です。	
令和 ● 年 ● 月 ● 日	
●● 簡易裁判所 御中	
事件名	売買代金 請求事件
訴訟物の価額	金 ●●●● 円
手数料額	金 ●●●● 円
〒 ●●●●-●●●●	
住所(送達場所)	●● 県 ●● 市 ●● 町 ●● 番 ●● 号
原 告	甲野 太郎 (甲野 印)
電 話	●●●-●●●-●●●●
F A X	●●●-●●●-●●●●
〒 ●●●●-●●●●	
住 所	●● 県 ●● 市 ●● 町 ●● 番 ●● 号
被 告	乙野 次郎
添付書類	
☒ 契約書	☐ 受領書 ☐ 請求書 ☐ 納品書
☐ 登記事項証明書(商業登記簿謄本)	

【留意事項】

訴状は、裁判所用と相手方用として、正本、副本の2部を提出してください。
相手方が複数の場合は、相手方の数+1となります。

本年中に同じ裁判所において少額訴訟による審理及び裁判を求めた回数を記載してください。

訴状の作成日を記載してください。

- ◎訴えを起こす方(原告)の住所、氏名、電話番号、FAX番号を記載してください。
- ◎印鑑は、認印(スタンプ式不可、法人の場合なるべく代表者印)でも結構です。
押印は朱肉をご使用ください。
- ◎原告複数名が1通の訴状で訴えを提起する場合は、この欄をさらに書き加えてください。
- ◎裁判所からの書類を住所以外に宛てて送って欲しい場合には、「(送達場所)」の記載を削除し、別途、送達場所等の届出を行ってください。

訴えを起こす相手方(被告)の住所、氏名を記載してください。被告が複数名いる場合は、この欄をさらに書き加えてください。

説明・記載例 (訴状(少額訴訟・売買))

遅延損害金の支払を求める場合には、この口をレ点でチェックし、いつからの遅延損害金の支払を求めるのかと、その率を書いてください。遅延損害金の支払を、売り渡した日の翌日から求める場合には、「□令和 年 月 日」の口をレ点でチェックし、その日付を書いてください。被告がこの訴状を受け取った日の翌日から求める場合には、「訴状送達の日」の翌日」の口をレ点でチェックしてください。

「訴訟費用」とは、申立手数料や証人に支払う旅費・日当などのことです。(弁護士等の費用は含まれません。)

請求の趣旨

1 被告は、原告に対し、次の金員を支払え。

☒ 金 ●●●● 円

☒ 【☒上記の金額／□上記の金額のうち金 円】に対する【□令和 年 月 日／☒本訴状送達の日」の翌日】から支払済みまで年 ● %の割合による金員

2 訴訟費用は、被告の負担とする。

との判決 ☒ 及び仮執行の宣言】 を求める。

「請求の趣旨」とは、訴えによって求める判決内容の、簡潔かつ確定的な表示です。あなたが被告に求める請求の内容を簡潔に記載してください。

◎仮執行の宣言とは、判決が確定する前に判決の内容に基づいて強制執行の手續に着手することを求めるものです。◎これを希望する場合には、「□」をレ点でチェックしてください。

説明・記載例 (訴状(少額訴訟・売買))

紛争の要点(請求の原因)

1 原告【☒ ●● 業を営む者である。】は、次のとおり、被告【☒ ●● 業を営む者である。】に、別紙記載の商品を別紙のとおり売り渡した（【☐特約については以下のとおり】）。

【☐特約】

2 被告は、上記売買代金について、【☒全く支払をしていない／☐令和 年 月 日までに金 円を支払った】。

(その他の参考事項は以下のとおり)

被告は、「代金はすでに支払った。」と主張して請求に応じない。

あなたや被告(相手方)が商売をしている場合には、()内にどのような商売をしているかを書いてください。

1回の月賦金の額、その支払方法、支払を怠った場合の特約、その他について特別の約束があれば、欄を追加してそれを書いてください。

被告(相手方)の言い分や、この紛争について他に参考になることを書いてください。

「紛争の要点(請求の原因)」とは、請求の趣旨と相まって請求を特定する事項などです。請求を特定するのに必要な事実や請求を理由付ける事実など、請求の内容の法律的な根拠及び理由、あなたの主張を具体的に記載してください。

代金の支払状況について、該当する口をレ点でチェックし、代金の一部につき支払がなされた場合には、その金額も書いてください。

説明・記載例
(訴状(少額訴訟・売買))

あなたが被告(相手方)に売り渡した物の内容を書いてください。

(別紙)

売渡日	支払期日	品目	数量	代金	備考
R●.●.●	R●.●.●	●●	●●	●●●●	
R●.●.●	R●.●.●	●●	●●	●●●●	